

科学基礎論学会秋の研究例会ワークショップ

11月7日（日）

日本大学文理学部

タイトル：「科学基礎論教育 II：STM 対象」

提題者：中根美知代・田中浩朗・児玉聡

オーガナイザ：村上祐子

概要

2010年6月開催の科学基礎論学会大会ワークショップ「科学基礎論教育：教養教育」では、提題者から文系・理系それぞれを対象とした科学基礎論関連科目の実践と課題が提示された。当ワークショップはその継続として、とくに理系（理工医＝Science, Technology, and Medicine: STM）を対象とした教育実践・教材開発に焦点を当てる。自然科学系一般教育科目中心の人文社会系対象と異なり、理系対象の科学基礎論関連科目では、科学方法論・科学史・（医療倫理を含む）専門家倫理のように、研究・実践の両面で広義の科学技術専門家として学ぶべき項目の比重が高く、一般教育から専門課程に至る広範なレベルの授業ニーズが存在する。とくに工学系における JABEE 技術者倫理科目のニーズは高いが、その具体的内容については各大学で異なることが前回にも指摘されている。

今回はまずオーガナイザから前回アンケート結果の報告を行う。その後、理学部・工学部・医学部それぞれで科学基礎論関連科目を担当している提題者の方々から各領域での実践と課題についてご報告いただく。可能ならば、カリキュラム構築・情報共有にむけた学会連携の可能性についてフロアを交えて議論を行いたい。また、アンケートを今回も行いたい。

参考：前回の概要

<http://ir.library.tohoku.ac.jp/re/bitstream/10097/48267/1/Yuko-MURAKAMI-2010-Tour01-046-2010w3.pdf>